

いきいきライフ

ラジオ講座テキスト

毎週日曜日 6:30～ 7:00 放送
 毎週土曜日 17:15～17:45 再放送
 FBCラジオ 嶺北 864kHz / FM 94.6MHz
 嶺南 1557kHz / FM 93.6MHz
 パソコン・スマートフォンから radiko や FBC-i で聴くこともできます。



鮎釣りの九頭竜川

令和五年七月

もくじ

- 七月二日放送（第十四回）
能楽の世界〜750年以上続く
世界最高の舞台演劇〜……………
能楽師 福岡聡子 2
- 七月九日放送（第十五回）
天気予報を使いこなす……………
気象予報士 河波貴大 5
- 七月十六日放送（第十六回）
福井県内の祇園祭……………
福井県立若狭歴史博物館
主任学芸員 川波久志 7
- 七月二十三日放送（第十七回）
文房具で暮らしにワクワクを……………
株式会社ホリタ 代表取締役社長
堀田敏史 9
- 七月三十日放送（第十八回）
幸せは目の前にある……………
貴志医院 院長（精神科医）
貴志英生 11
- 感想文のコーナー……………
13
- 文芸欄……………
16

■七月二日放送（第十四回）

能楽の世界

〜750年以上続く世界最高の舞台演劇〜

能楽師 福岡聡子

約650年もの間人々に愛されてきた『能楽』。ユネスコ無形文化遺産にも登録されており、日本だけでなく国際的にも価値が認められている伝統芸能です。能楽を「観」になつたことがある方も、ない方も今なお受け継がれる古の心に思いを馳せてみましょう。能楽についての知識を深めて見ると、また違った魅力や世界が広がるかもしれません。

1 能楽の歴史

能と狂言を合わせて能楽といえます。まず能とは謡（うたい）と舞で物語を表現する芸能です。狂言はセリフを中心とした喜劇で今の漫才やコントに近いです。その始まりは奈良時代大陸から伝わった散楽と言われています。



室町時代、足利義満の庇護のもと観阿弥、世阿弥が今の能の基礎を作り芸術性を高めました。それからあまり形を変えること

なく今に伝わる伝統芸能です。

2 能とは

橋弁慶という曲を例にしますと、主役の弁慶、子役の義経が登場して五条の橋の上の出会いを演じます。弁慶はテシビで見るとように袈裟頭巾を被り長刀を持った姿で登場し、義経も鉢巻をしめ太刀を持って登場します。弁慶、義経、後ろで地謡（登場人物のセリフ、心理描写の代弁をする）の謡に合わせて囃子の音も入ります。



はやしがた えんそうすがた
囃子方の演奏姿

みぎ ふえ こつづみ おおつづみ たいこ じゅん すわ
右から笛・小鼓・大鼓・太鼓の順に座ります。

3 楽器紹介(囃子)

笛 唯一メロディーを奏でる楽器です。喉と呼ばれる

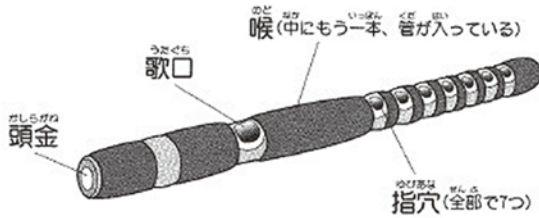
竹のくだがもう一本入っていて、和楽器の笛の中でも高い音が出ますが音をだすのがむずかしいです。

小鼓 左手で縦調べを握り、右肩に載せ、左手の握りを調整しながら右手で打ちます。

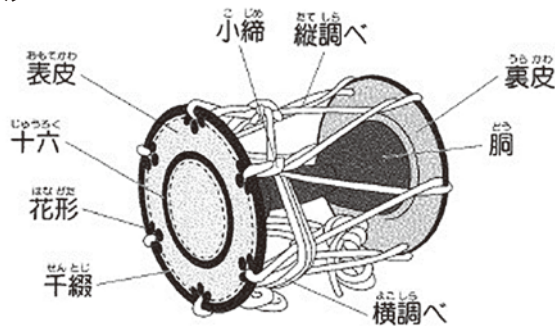
大鼓 左手で調緒を握り左ももに乗せて右手で打ちます。

より高い音を出すために右手の中指と薬指に指皮をつけます。
太鼓 体の正面に置き両手でばちを持って打ちます。能の曲の中では太鼓が入らない曲もあります。

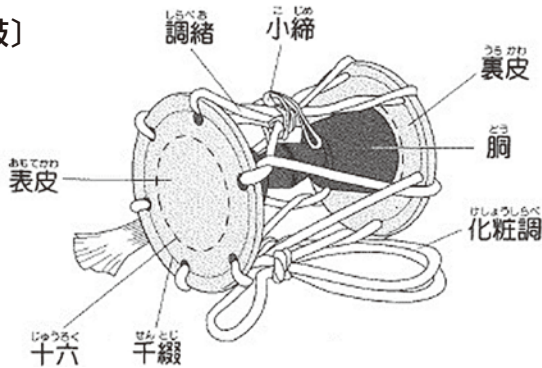
〔笛〕



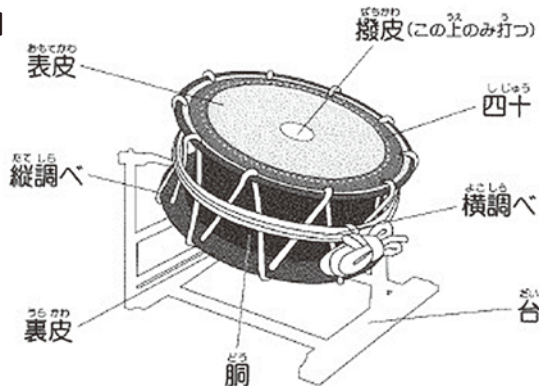
〔小鼓〕



〔大鼓〕



〔太鼓〕



4 謡の体験

高砂という曲は一貫して天下を寿ぎ、夫婦和合を慶び、祝意に満ちた明るい演目です。今回体験していただく待謡とは高砂の後半の最初にフキが謡う部分です。昔は結婚式でよく謡われていました。時代劇の祝言のシーンで耳にされた方もいらっしゃるかと思います。

たか、さごやーこのうらぶねーにほをあげーてー。

このうらぶねにほをあげて。

つきもろともにいでしをの。

なみのあわじのしまか、げや。

とを^ウなるをの^イおきすぎ(て)

は^アや^アす^ミの^オえ^にい^イつきにけ^リ(イ)

は^アや^アす^ミの^オえ^にい^イつきにけ、エーリー。

5 能楽への思い

私が能楽を始めてから40年余り経ち、職分【フロ】になってから30年になります。舞台を重ねるほどその奥深さに圧倒され、自分の未熟さを思い知らされています。私のこのからの目標は、一人でも多くの人に、能楽を観ることの楽しさ、体験することの楽しさを伝えて、昔金沢で能楽が盛んだった頃、空から謡が降ってくると言われていたように、福井でも能楽が老若男女問わず気軽に楽しめるようになることです。

講師略歴……福岡 聡子（ひくおか ともこ）

1971年福井県越前市に生まれる。宝生流シテ方職分。10歳より稽古を始め東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽専攻を卒業。主に福井市、金沢市での舞台活動、福井県内での能楽学校派遣授業、ハピリンホールで福井ワイワイ親子能楽塾の講師を務める。福井県能楽特別委員会会長。2021年国の重要無形文化財（能楽）保持者（総合認定）

■七月九日放送（第十五回）

天気予報を使いこなす

気象予報士 河波 貴 大

1 四季の表情が豊かな福井県 でも災害も多い

私は勝山市で生まれ、高校まで福井県で育ちました。いまも勝山にはよく行きますし、永平寺町から勝山市に入っ
てからの木々の色づきや山々の様子の変化に、季節の移り
変わりを感じています。

そんな私が気象予報士を志したのは、福井県で2004
年に起きた「福井豪雨」がきっかけです。当時学生だった
私は、復旧ボランティアを経験して、身をもって災害の怖
さを知りました。適切な呼びかけで人が助かるようにと、
大雨や大雪の時は気を引き締めています。

2 誰でも情報を取りに行ける時代



近年は、急激に雨雲が発達し
て、局地的に大雨を降らせ、そ
れが大きな災害に結びつくこと
が増えています。実際に、1時
間に50ミリ以上の非常に激しい
雨の発生回数も、1980年頃

と比べると、約1・5倍に増えているのが現状です。大雨
への対策も行われていますが、それを上回る激しい現象が
起こっています。

福井県内でも、昨年8月、南越前町や奥越で、大規模な
大雨災害が発生しました。こうした大雨災害は、ピンポイ
ントに、予測をはるかに上回る大雨を降らせてしまうとい
う点に怖さがあります。現在の天気予報では、「〇〇駅で
△△時◇◇分にゲリラ雷雨が発生します」というピンポイ
ントな予測は難しいのが現状です。

そうなる大切なのが、皆さん一人ひとりが「積極
的に情報を取りに行く」ということです。特に、大雨の季
節におすすめるのは、気象庁ホームページの「キキクル」
です。この「キキクル」は「危機が来る」から名づけられた
もので、土砂災害や浸水害、洪水の危険度の分布を地図上
で確認することができます。パソコンやスマートフォンか
ら、「キキクル」と検索すれば、誰でも見ることが可能です。
「キキクル」の何が良いかというと、いま自分の住んでい
るところの危険度が、リアルタイムかつ、レベルごとに色
分けされているので、ひと目でわかるという点です。

レベルは5段階あって、下から警戒レベル1相当の白色、
レベル2相当の黄色、レベル3相当の赤色、レベル4相当
の紫色、レベル5相当の黒色となっています。

大切なのは、レベル5相当の黒色を待たずに、レベル4
相当の紫色までに、全員が避難を完了させることです。レ
ベル5相当の黒色の段階では、もうすでに土砂災害や河川
の氾濫が発生している恐れがあり、命の危険が迫っている

状況だからです。大雨のときは、刻々と状況が変化します。特に暗い時間の移動は危険になりますので、空振りを恐れずに素振りだと思って、避難行動に移していただきたいと思えます。

3 意外と知られていない天気予報の使い方

【降水確率と雨の強さの関係など】

雨が多い梅雨の季節。洗濯物を外干しできるか、気になりますよね。たまに「天気予報で降水確率が30%だったから、大した雨にならないと思っていたのに、土砂降りになって洗濯物が濡れてしまったよ」とおっしゃる方もいらっしゃいます。このケースの場合、降水確率の解釈が間違っているのです。結論から申し上げますと、「降水確率と雨の強さは無関係」なのです。降水確率100%でも弱いし、と雨のこともあれば、降水確率30%でも土砂降りになることもあります。なぜならば、降水確率というのは、「1ミリ以上の雨または雪の降る確率」のことだからです。

たとえば、「きょう正午から午後6時までの降水確率は30%」という場合。これは、正午から夕方6時までの間に1ミリ以上の雨または雪の降る確率が30%ということですから、つまり、その雨の量が、1ミリなのか、10ミリなのか、はたまた100ミリなのかは関係ないのです。降水確率を見ただけでは、小雨か土砂降りになるかは判断できないのです。特にこれからの夏の季節、「降水確率30%」で、午前中は晴れていたけど、午後になって夕立が発生して土砂降りということとはよくあります。ぜひ気象予報士の解説を聞いて

どんな雨が降るのかをチェックしていただければと思います。【週間予報を見るなら、午前11時過ぎがおススメ】

パン屋さんのパンは、できたてが一番おいしいですよ。それと同じように、天気予報にもできたての時間があります。つまり、新しい予報の発表時刻が、決まっているのです。

たとえば、気象庁の予報だと、それは「午前5時、午前11時、午後5時」の一日3回です。きょう・あすの予報を知りたい場合は、この時間の直後が最新の予報ということになります。

ただ、一週間先までの予報「週間予報」は、少し違って、「午前11時と午後5時」の一日2回発表されています。なかでも、予報がガラッと大きく変わるののは、「午前11時」の予報です。

つまり、一週間先の予報を知ろうとしたときには、朝の時点では要注意です。朝の時点の週間予報は、賞味期限間近の予報ということになります。出張や旅行で、何日か先の天気が気になるときは、お昼ごろに週間予報をチェックするのがおススメです。

講師略歴……河波 貴大（かわなみ たかひろ）

福井県勝山市生まれ。学生時代に福井豪雨を経験し、気象予報士を志す。下積み時代に、原稿作成業務を経験。また、ベイエフエムやエフエム富士で、天気コーナー出演を経験する。

2023年4月より、FBC福井放送の「おじゃまっテレ ワイド&ニュース」(午後はとことん やらら屋ラジオ)の天気コーナーを担当。東京ディズニーランド・ディズニーシーが好きで、大好きなミッキーさまのように、人を元気にする放送を目指している。

■七月十六日放送(第十六回)

福井県内の祇園祭

福井県立若狭歴史博物館

主任学芸員

川波 久志

1 祇園祭とは

皆さんは祇園祭という思い浮かべられるのは、どちらの祇園祭でしょうか。京都の祇園祭でしょうか。それともご自身の身近なところで開催される祇園祭でしょうか。

全国の祇園祭のもとになるのは、京都の祇園祭です。七月一日から始まり、約一か月におよぶものです。祇園祭のハイライトといえば、十七日の神幸祭、二十四日の還幸祭、それらに伴う山鉾巡行です。その始まりにはいくつかの説がありますが、平安時代前期から中期に始まったものと考えられています。疫病除けとして始まりました。疫病の神様を祀ることで、その祟りを鎮め、疫病の流行を防ぐうとするものです。当初は神輿のみが出るもので、その後現在の祭りにつながるような山車が登場するようになりました。

祇園祭は全国各地にさまざまなか形で分布しています。今回は、福井県内でさまざまに展開

する祇園祭をごく一部ではありますが、紹介します。

2 嶺北の祇園祭

①木田神社（福井市木田）の祇園祭と簸川神社（福井市松本）の祇園祭

木田神社と簸川神社の祇園祭は江戸時代に福井藩によって京都の祇園祭を参考にして盛んになるように考えられたといわれています。江戸時代に描かれた「福井藩十二ヵ月年中行事絵巻」六月「祇園祭りの図」(福井市立郷土歴史博物館蔵)には、京都の祇園祭の山車のような笠鉾が出ていることが分かります。残念ながら、現在は描かれたような笠鉾はありません。

②北瀧祭（あわら市北瀧）

ももとはテンノコマツリ（天王講祭）とも祇園祭とも呼ばれていましたが、現在では北瀧祭と呼ばれることが多くなっています。北瀧祭は、神仏習合の雰囲気濃厚に残されているところが最大の特徴でしょう。神輿は安楽寺という真言宗の寺院から出発し、八雲神社に向かい、集落内を巡幸した後に、また安楽寺に還御します。他の祭りでも神輿が寺院を巡るものもない訳ではありません。ただ、それらは一時的に立ち寄るだけであり、北瀧祭のように神輿が寺院から出て帰るようなことはほぼ無いように思われます。

③八坂神社（越前町天王）の祇園祭

八坂神社の祇園祭は、まずは獅子が集落を巡ります。七月十五日前後に十二の集落を巡ります。その約一週間後、



御輿の渡御の日となります。神輿も同様に集落を巡ります。八坂神社は祭祀組織である宮座があります。こうした祭祀組織は、嶺北では数か所あることが知られています。現在では無いだけで、かつてはあったというところもあるかと思えます。

3 嶺南の祇園祭

① 廣嶺神社 (小浜市千種) の祇園祭

小浜の祇園祭といえば、江戸時代までは、現在の放生祭で出ている山車などが出るものでした。「小浜祇園祭礼図」(廣嶺神社蔵、福井県立若狭歴史博物館寄託)には江戸時代後期の祇園祭の様子が描かれています。その中には、山車や神楽、三匹獅子などが描かれています。これらは明治に入り、紆余曲折あって、現在の放生祭の出し物となりました。

現在の小浜の祇園祭の最大の特徴は鎌鉾でしょう。この鎌鉾は、京都の祇園祭にもかつてあったものですが、現在は無くなっています。小浜では現在も継続して残されているものと考えられます。

② 高浜七年祭 (高浜町)

高浜町で七年目ごとに行われる、佐伎治神社のお祭りです。祭りでは七日間、地区内で太刀振などの芸能のほか、曳山が出るなど見どころの多いお祭りです。

4 福井の祇園祭はさまざま

福井県に分布する祇園祭のごく一部を紹介しました。しかし、それでも一口に祇園祭といえどもさまざまな形に展開していることが多少なりとも知っていたただけたかなと思います。もちろん、気比神宮(敦賀市)のお祭りの山車のように、祇園祭としていなくとも京都の祇園祭の影響を受けたお祭りも多数あり、祇園祭はさまざまな形で影響を与えています。

今回は写真もなく、分かりにくいところもあったかと思えます。この文章や放送を見聞された方は、ぜひとも、お祭りに足をお運びいただければと思います。私が紹介できたところはほんの一部なので、それ以外にも発見があるかと思えます。

また、お祭りは、コロナの影響も大きく、どこも存続の危機にあります。これからお祭りをどのように継続していくのか、課題は多くあります。

《参考文献》

河内将芳二〇一五『絵画史料が語る祇園祭 戦国期祇園祭礼の様相』淡交社

河内将芳二〇二〇『室町時代の祇園祭』法蔵館

八木透編二〇〇二『京都の夏祭り』民俗信仰』昭和堂

講師略歴……川波 久志(かわなみ ひさし)

昭和54(1979)年福岡県生まれ。熊本大学文学部卒業、熊本大学大学院文学研究科地域科学専攻修士課程修了。専門は日本民俗学。平成23(2011)年より福井県立歴史博物館に勤務。令和2(2020)年より福井県立若狭歴史博物館に勤務。

■七月二十三日放送（第十七回）

文房具で暮らしにワクワクを

株式会社ホリタ
代表取締役社長 堀田敏史

文具の本質的な価値

文具は「文化を支える道具」の略だとスタッフに伝えています。「学ぶこと」「働くこと」を一番近くで応援するもので、自分の好きなものを持てばワクワクしますし、機能的で便利です。

老若男女どんな人であっても使っている・使ったことがあるので「大衆的」な側面があります。それに、学校や生涯学習として幅広く使われるので「教育的」な側面、人類の進化と共に大昔から存在し、文化の中心には常に文具がある「文化的」な側面もあります。大衆性・教育性・文化性、これらの本質的な価値には、無限の可能性があります。

今の文具の流れ

現在、文具業界を取り巻く環境は大きく変化しています。デジタル社会において、スマート



田原町商店街にあった頃の堀田文具

フォンなどを活用した「デジタル」と、文具のような手を動かす「アナログ」をうまく使い分ける人が増えています。商品も、昔は「機能性」であれば売れましたが、今は「デザイン性」もとても重要です。最近では特に、機能もデザインも良いことは当然として、その文具を使うことで、どういう自分になれるそうか？どのようにながめられるかまでをイメージさせる、そのブランドやシリーズの「ストーリー性」も重要になってきています。

※ラジオでは、今おすすめする文具・今の時代を象徴する文具などを紹介します。

アトツギの挑戦

私自身、昨年、中小企業庁が主催した「アトツギ甲子園」で最優秀賞を受賞したことが縁で、全国で活躍するアトツギの方々がたくさん知り合うことができました。今の時代に即した、革新的な価値を生み出している跡継ぎさんに共通していること。

それは、先代が積み上げてきた既存事業の強みに、跡継ぎご自身の個性や自分のキャリアをうまく掛け合わせて、化学反応を起こしていることです。事業承継には、積み上げてきた強みを崩さず、その上で、自分らしさを出すことがとても大事だということを改めて学びました。

私自身は、元証券マンであることや、父が教育者だったこと、女系の家族で女性の中で育ってきたことなどの個性やキャリアを、本来の「文具」というホリタが積み上げてきた強みと掛け合わせて、事業の独自性につなげています。

ただものではない文具店に

現在、県内で6店舗を運営していますが、その中でも独自性を打ち出しています。子供たちの、モノを大切にする・モノに感謝する心を育みたいと、「えんぴつ神社」という活動を行っています。短くなった鉛筆を回収して、年に一度供養しています。

「ホリラボ」という「学校でも塾でもない学びの場」は、芸術大学の教授とカリキュラムを共同で作り、教室を毎週開催しています。

その他にも、知育やアート、「学び」などの特色を活かしたイベントを定期的に開催しているのも弊社の特徴です。



昨年には「HORITA LIFE CANVAS」という新しい店舗を武生中央公園のエリアに出店し、商品との出会いはもちろん、人との出会い・体験との出会いを創出して、わざわざ行きたくなくなるお店になれるよう、福井になくてはならないお店になれるよう、挑戦し続けていきます。



15年前に抱いた夢を追いかける人生の旅

約15年前に、大手証券会社を辞めて、家業であるホリタに入社しました。入社当時から「日本の文具店になる」「田舎の身近なディスプレイランドを創りたい」ということをずっと言い続けてきました。最初は誰も信じてくれませんでした。最初は誰も信じてくれませんでした。今は信じて共に歩みを進めてくれるスタッフ・応援してくださる周囲の方が確実に増えました。福井の方々に育てていただきました。どうなりたいのか？そういう「志」をぐらぐらと、発信し続けていくことが最も大事だと、実感していますし、ここからは、スタッフを信じてより多くを任せ、掲げる夢に向かって、もっと加速させていきたいと思っています。

講師略歴……堀田 敏史(ほりた としひみ)

2004年、大学卒業後、大手証券株式会社に入社。2008年に家業のホリタへ入社し、2014年3代目として代表に就任。売上の約7割あった法人向け納品業を徐々に減らし、現在は約9割が店舗販売。福井県内に6店舗・来店者数は年間約70万人。「まちの文具屋」から「エンターテインメントカンパニー」をめざしている。昨年開催されたアトツギ甲子園で最優秀賞賞(中小企業庁長官賞)受賞。福井市出身・現在40歳。



■七月三十日放送(第十八回)

幸せは目の前にある

貴志医院 院長(精神科医) 貴志 英生

はじめに〜私の物語

私は、小学生の時に北杜夫の「船乗りクラブの冒険」という児童書に出会い、彼のようになりたいと思ったのでした。物書きで旅をする精神科医に憧れました。

中学生の時に、同級生から自殺を考えたことがあると聞かされてショックを受けたことがありました。身近な同じ中学生が、生きていくことの意義を考えていることに驚きました。人間は生きていく間に見たくないものも見なければならず、遭いたくもないことに遭わなければならないことを意識した瞬間です。

さらに、医学部に進学してWHOの健康の定義を再学習



し、その中でウェルビーイング(Well-being)という言葉を知りました。自分の存在こそが全てで『幸福になるのではなく、幸福である』のだと理解しました。

幸福とは

幸福は①快樂的な幸福(ハピネス)と②持続的な幸福(ウェルビーイング)と2つの顔を持ちます。快樂的な幸福は、いま幸せな気分が瞬間の状態です。持続的な幸福は、有意義で生きていくことが素晴らしいと感じる人生を送っていることを指します。どちらも大事ですがバランスが必要です。快樂的な幸福を追い求め続けていると疲れてしまいうし長続きしません。人生にはアップダウンがつきものです。幸福とは満ち欠けするもので、良い人生とは複雑なものです。

メンタルヘルス

幸せな人生を送るためには、健康の維持だけでなく、自己決定感、他者や社会の信頼感、経済的な安定も必要です。ここでは、健康の維持、特にメンタルヘルスについてお話しします。

一時的なストレスは害になりませんが、それが強かったり長く持続したりすると不調をきたす誘因となります。

しかし、適切な対処をすることで病的な状態に至ることを防ぐことは可能です。そのためには、いくつかの工夫が必要ですよ。

①「運動・食事・睡眠」適度な運動を続け、定期的に健康的な食事を摂り、良質な睡眠を確保することは、大切な基本ですよ。

②「リラクゼーション」自然に触れたり、落ち着ける環境を持つたりすることもストレスを緩和させてくれます。

③「仲間づくり」趣味やボランティアを通じた仲間は、私たちの人生の風を乗り切る力になってくれます。特に家族や仕事とは別の、いくつかの「コミュニティ」があることはより強い力になります。

④「適切なコミュニケーション」良好な人間関係は困難を克服する糧になります。相手の話を聞く(傾聴)、相手の気持ちを理解し寄り添う(共感)、自分の意見や気持ち伝える(言語化)の3つが「コミュニケーション」を良いものにする鍵になります。

人生が幸せであると感ずるためには、正しいトレーニング(習慣)を継続する必要があります。

感情とうまく付き合う

自分の感情と向き合い、精神的な平穏を保つために役に立つ習慣を、4つお示します

- ①「感情を意識する」喜怒哀楽をしっかりと意識すること
- ②「自分と対話する」自分を客観的に見つめてみることを書いてみる「整理して文字にして記録するノート」
- ③「ネガティブな感情を受け入れる」ネガティブな感情と格闘するのではなく、返って悪い影響が増大します。

ありのままに生き、他者を想う

自分は世界に一人の存在で、私たちはその自分を受け入れるしかありません。他人のものさしでなく自分のものさしで生きること、つまり、周りと自分を比較しないことが大切です。

そして、他者を想う気持ちを忘れてはなりません。私の大好きな標語に「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」というものがあります。自分が他人の役に立っていると感じた時に、自分のことが好きになれます。自分のことが好きになれば、他人と比較することもなくなります。周りの人に奉仕する気持ちは、自分を幸せにする近道です。

幸せは目の前にある

今ある自分を知りその存在を受け入れることが、目の前の幸せに気付くこととなります。残念ながら自分のことは知ってさうで知らないことだらけです。自分のほとぼる感情やその後続く行動などを振り返ることによって、知らなかった自分を見つけることは可能です。幸せは目の前にあるのです。

講師略歴……貴志 英生(きし ひでお)

福井市生まれ。貴志医院院長・精神科医。旧美山町で祖父の代から続く内科医院を継承。福井東ロータリークラブ会員として海外ボランティアを続けている。メンタルヘルスに特化した産業医としても従事。

感想文のコーナー

このコーナーは、受講生の皆様から寄せられた感想文を紹介いたします。紙面の都合上、すべての感想文を紹介できないことをご容赦ください。

■五月七日放送（第六回）

本と暮らす生活と地域文化の厚み

清水 英明 先生の感想文より

▼谷川 好枝（四番）

「董遇三余」の時を考え直す。すごく心に響きました。私なりに、冬、夜、雨の時間を思い浮かべてみました。あの方の皆さんの時間を無駄にしていたのではと思います。

近頃思う事があります。「もう年だ」とは思わないようにする事です。

先生の今日の講話にあった「董遇三余」。冬、夜、雨、このたぐさんの時間を無駄にせず終活に励もうと思えます。良い言葉を有難うございました。

▼上屋敷 洋子（百八十番）

私も本を読むのが好きです。現在は本を読んでいる途中で居眠りをしてしまい、若い時は夜が明けるまで読みふけたのにと残念です。十年余り図書館でボランティアをしています。本棚にある読みたい本は三日間のうちに読みます。幅広く学べて大変役立っています。

■五月十四日放送（第七回）

「土生土帰」と循環再生

千葉 亮 先生の感想文より

▼前川 嘉津子（二百十八番）

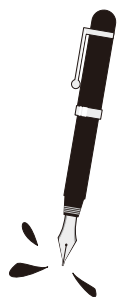
人は土に生まれ土に帰る。Aの時代となり、パソコンやスマホが使えないと生活できないようになってきました。TVの時代劇を観ていると、昔は亡くなった人はその場所です蔵され、通りがかりのお坊さんが宗派関係なく、お経様を上げてくださる場面がありました。

現在は実家の墓を維持するのも大変で、委託業者に頼む人もあると言います。私たちの先祖はしっかり自然の中で生活をしてきました。私の実家も土壁だったので、家を建て替えた時、畑に壊した土壁を入れたところ、立派な作物が収穫できました。

「土」「環」の意味深い内容で、私も精一杯生き、命尽きた後は再度生まれくる時を待ちたいと思います。

▼酒井 匠（八十四番）

私は生まれてから高校卒業まで旧越前町織田で生活していましたので、今回のお話は身近なこととしてお聞きしました。



越前瓦は中学校付近に瓦を生産する工場が数か所あり、桜谷や脇谷地区の良質の粘土を使用し瓦を製造していました。銀ねずみ色で積雪の重み、寒冷に強い瓦です。

江戸時代には赤瓦を生産し北海道や東北に北前船で運んだと聞き知っています。

平等地区の甕墓のことは知りませんでした。平等へ一度行き地蔵様をお参りしてきました。

土蔵は小舞竹を下地に細縄で編み、わらを練り込んだ粘土状の玉を作り、塗り込んで厚い土壁で暑さ寒さに影響されない建物です。水害、虫くいに強い、栗の材木を多く使用して長年の使用に耐える建物で出入口は金網戸、けや木戸、土の大戸の三重になっており、ねずみや動物の侵入を防ぐ工夫がしてあります。

先生は小曾原で土蔵のギャラリーを開いておられるとのこと。日本建築の良さ、再利用、「土生土帰」よいお話でした。

■五月二十一日放送(第八回)

タイとの架け橋になりたい

～私の第二の故郷ふくい～

八木澤 環輝 先生の感想文より

▼齋藤 優 (二十二番)

学び強化月間テーマ「福井での生き方を学ぼう」にふさわしいテーマで楽しく拝聴しました。

八木澤さんはタイで生まれ、お父さんは日本人、お母さんはタイ人とのことですが、お名前を日本語にしておられ

嬉しいです。

そして、日本語を流暢に語られる口調に努力の跡が伺えました。日本で働きたいとタイの大学で日本語、日本の文化を学び、交換学生にも選ばれました。その時の関西での生活体験は貴重であり、一層日本への理解が深まったことでしょう。

そして、ついに、福井県社会福祉協議会の「ふくい外国人介護職支援センター」で通訳として勤務され、介護職を目指すタイからの若い女性の架け橋役を任されて懸命に頑張っている姿が伝わりました。

タイ国も日本同様高齢化が進んで介護職の需要が迫られているようです。日本でしっかり研修され、技能を身に付けた女性が安心して働けるよう、日本での手助けをお願いしたいです。併せて福井の良さを十分体感して好きになっていただき、是非第二の故郷として日本に永住してほしいと願っています。

十日程前のことですが、朝のウォーキングをしていた際、自転車をはいたタイの女性と出会いました。挨拶を交わし、お互い立ち止まって、しばらく楽しく語り合いました。日本に来て20年以上になり、日本人男性と隣の町内で暮らしているという50代の方でしたが、すごく元気でエネルギーッシュで、明るくにこやかに「日本、大好き」と語ってくれたのが印象に残りました。

▼松村 政子(六十三番)

一年中暑い熱帯の国タイ。その首都はバンコクであるという事ぐらいしか知りません。

最近では日本がタイから介護技能実習生の女性を受け入れている、高齢者施設で介護の仕事に携わる人が増えています。

彼女達が自立するまでには、日本語の壁、文化、価値観、気候の違い、介護の専門用語の習得等、様々な課題があり大変だと思います。八木澤さんは優しいお兄さんとして立派にサポートされることでしょう。日本の食や文化、四季を楽しんでください。そして是非「心の故郷福井」の永住を叶えてください。

■五月二十八日放送(第九回)

ブリリアントハートミュージアムに寄せて

戸田 正寿 先生の感想文より

▼高石 まゆみ(百六十五番)

福井市に近い三国に、このように素敵なミュージアムがあるとは知りませんでした。講座の資料も額縁に入っている動く絵のような感じの写真で見惚れてしまいました。実際、晴れた日に訪ねてみたくなる美術館ですね。

三国の出身者には、芸術家や文学者が多く誕生しています。戸田先生もその一人ですね。サントリーのペンギンの伍ビールのイラスト作者とは驚きでした。ペンギンのイ

ラストがとても可愛過ぎて、ついつい買ってしまったことを思い出しました。

また、洞爺湖サミットの会場総てのアートデレクションをされたとのことですが、サミット会場の洞爺湖のホテルが一躍有名になったことを今でも覚えています。あの時の会場のセッティングをされたのが、戸田先生だったとは驚きです。

洞爺湖に中島がありますが、日本海に浮かぶ雄島と何となく似たような島ではないでしょうか。洞爺湖のホテルから望む中島、ブリリアントハートミュージアムの窓から望む雄島と二つには因果関係があるのではないのでしょうか。三国のミュージアムに一度行って見たくなりました。素敵なお話有難うございました。

▼寺本 明乎(二百四十八番)

私はあまり「アート」には興味がなかったが、今回の放送で福井にはこんなに素晴らしい方がいることや、福井の自然の美しさが、いかに私達の宝物であるかを知ることができ、これからのつくり、じっくり楽しんでいきたいと思った。



文芸欄

俳句

新茶注ぐ心を少しかたむけて
父祖からの自分の番を生きたる夏

前川 康子 (二十四番)



禅寺の朽ちし菩薩や新樹光
夏空を球児のために明け渡す

高石まゆみ (百六十五番)

散らかっているのは心梅雨湿り
出口無き世界平和を祈る夏

中山 慶子 (二百六番)

短歌

自転車で通りかかれば幼らに「こんにちは」と声かけら
れる

杉下 信夫 (八十八番)

川柳

自転車も急に止まれず蛇を引き
預けし海の香プンプン新若布

谷川 好枝 (四番)

ななぞし
七十路に角からダルマ嗜好換え
公邸を私邸と思つ非常識
帰り道マスク外して深呼吸

大下 敏雄 (二百二十九番)

●発行所 (福) 福井県社会福祉協議会

●〒910-1852 福井市光陽 丁三十一番二二

●電話 (0776) 241-4333
FAX (0776) 241-0041